



北海道はなぜ県でも府でもないの

蝦夷地という名前を北海道にかえた

北海道は、江戸時代までは蝦夷地とよばれ、先住民であるアイヌの人たちが、固有の文化と生活様式をもって住んでいました。政府は、1869年(明治2年)、蝦夷地を北海道と改め、開たく使という役所をおいて開たくに力をいれました。そのとき、県とか府とかいう名はつけませんでした。また、政府は、ロシアに備えるためにも、アメリカからの顧問団の力を借りて、未開地の開たくや資源の開発につとめました。また、土族や農民の移住をすすめ、警備と開たくをかねた屯田兵を配置しました。さらに、鉄道の建設をすすめました。

アイヌ語からきた北海道の地名

北海道の各地には、アイヌ語の地名とともに、開たくの歴史をうかがい知ることができる地名がたくさん見られます。北海道最大の都市札幌は、アイヌ語のサッポロ・ベツ(かわいた大きな川の意味)からきたという説が有力で、また、阿寒は、ラカン・ベツ(ウグイの産卵する川の意味)からきたといわれています。

あなたも、北海道の地名のおこりを調べてみましょう。(監修・保岡 孝之)

